

日誌 昭和9年分

2コマ目

昭和9年5月1日(晴) 文芸部員 桜林

〔 氏はかなり鋭敏な洞察と表現の人だが乱筆ゆえ判読には苦勞、TOKORO〕

冷たい風が吹いて寒かった。学校ではスチームを通していた。だが薄寒い夜「股火」をやりながら読書するのは好いものである。

1年のうち最も美しいといわれる Mai〔5月〕がやって来るのだ。「会議は踊る」でリリアン・ハーヴェイ〔 〕が歌っている「春には唯一度だけ5月が来る」って。永井君の神経衰弱も快方に向いてるらしい。5月だ、友よ、虚栄の衣服は脱ぎ捨てて歌おうじゃないか！！〔 この年から日本公開されている独襖合作映画「会議は踊る」で主演の街娘役の女優〕

5月2日(晴) 昨日より一寸春に近くなった。永井君は朝から学校をサボって藻岩にアライン・ゲーエン〔単独行〕する。尾根の福寿草が美しかったとか。

5月3日(晴) 今日こそ5月にふさわしい日だった。柔らかく暖かい日射しはすべてを幸福そうにする。

3コマ目

康君と永井君は午後から郊外に出掛ける。自然を知り得ることはすばらしい特権である。植物園の午後ものどかであった。舎の花園にヒヤシンスが咲いた。貧弱ながらも春を忘れないで。コヤシをやらないから可哀想だ。テニスコートも荒廃、寂寥！！

5月4日(金) 曇、舎生一同、一寸、憂鬱症の気味である。彼らから天の神が逃げ去った様だ。ああヒステリックよ、天では、、〔ママ〕。理解し難い部分は、かくいつまでもそうなのだろうか？いや、硬直してるからだ。

5月5日(土) 花曇り。北海道では花曇りのことをニシン曇りというとか…。今日は午前中、広瀬君がやって来た。生憎誰も居ない。大島君一人だった。広瀬君も気が利かない。

晩8時半からシルコの祝いあり。男の子のお節句なんだからな。

5月6日(月) 花曇り。埃がひどくて気分屋さんにはツライ日曜日の散歩だ。永井君は昨夜から小樽へ出張して夜かえって来た。万ちゃんは日曜でも仕事をやる。中々つらいもんである。明日から又学校だ。

5月9日(水) 小雨。昨夜来の雨が埃をはずめてくれた。午前中広瀬が来た。5号で

4コマ目

お茶を飲みつゝ駄べった。広瀬君の服は好い服だ。当分職がある迄副手として居るって言った。夜、広瀬君に手伝って貰って財団法人の決算をやり直した。広瀬君が居てこそ…。赤字200数十円とか。

5月10日(木) 雨。春の雨なる哉！！雨上がりの夜のそぞろ歩きの感傷！！札幌ならではだ。

5月11日(金) 快晴。 かの精霊も此の春の一日に躍り出したであろう。

花も一時に咲き出た。すべての新緑が動き出した。

やがて宵ががやって来た。夢の世界に遊ばせてくれた、此の日の宵が。

どこからかしのびよって来た霧が、電灯の輝く頃はちらかり、街全体を包んでしまった。

夢を見ることを知ってる者も である。幻の世界に入り得る者こそ此の日の五者なのだ。

5月12日(土)曇。宵闇せまる頃となると皆コソノと舎を抜け出して残る？

「げに春宵千金なればなり。」風ひどく雨を交えて来た。

5月13日(日)曇。朝6時前に出発、円山へ桜を愛でる。食事部用意のサンドイッチ味良し。伊藤さんの所のシダレ桜もよく咲いてるのが見える。

5月14日(月)雨。極東オリムピックが最中だ。だが我々の生活には全く関係がない。

5コマ目

春といえ冷たい雨がふりやがるし、好い映画も来ないし。

月の世界の女神等よ。我等に夢をあたえよ。

5月15日(火)雨。朝から雨とともに相当の風もがあった。モロに寒い。講義をきいてゝふるえちまったじゃないか。円山の桜も散ったことだろう。

5月16日(水)快晴。午後、講義なんかサボって植物園に青空を眺めて居たらどんなに気持ちがいいだろう。道路もすっかり乾いてきた。

5月17日(木)快晴。三吉神社のお祭りが終わった。光のどけき日が続くので、人出は依然として多い。風船を持てる人、酔っぱらってる人、色々。

夜、汽車に飛び込みがあった！

5月18日(金)快晴。夏のように暖かい日だった。そろそろ修学旅行の生徒らが見える。夜の街は人が出る。着かざった乙女達の眼が異様な輝きを帯びて居た。

夜、皆出て舎は寂として居る。広瀬君、大塚君が訪れてくれた。

5月19日(土)快晴。ホコリがひどい。晩、一君が帰ってきた。午後は3、4人植物園に寝に(?)行った。 春を讃えよ！！

6コマ目

5月20日(日)快晴。

皆それノ此の好き日を享樂すべく出掛けてしまう。ロングは定山溪へ、大島君、康君は円山方面へ。桜林君は赤岩へ...等々。夜は一君の室で皆で駄べる。

ツ、ジが咲いて居る。桜はハラノと散って行く。花の咲く時はかくも短い。だが彼はソレを以て最高として居る。

5月21日(月)朝の内学校へ出掛けるが3人きりには驚いた。医学部は休み。その他は？ 午後から雨が来た。5月の雨は甘く悲しい。

某重大事件で内閣はごった返し？黒田英雄大蔵次官が告訴されるらしい。〔 帝人汚職 〕

5月22日(火)降ったり、晴れたり、曇ったり。正に測候所の天気予報の如し。桜林君、勇ましく利尻富士登山に出発す。〔この日から日誌執筆者交代〕海路安全なれ。

5月23日(水)曇後雨、後晴、後雨。以下同上の連続。医学部に於て今博士学士院賞授賞の学生祝賀会あり。

5月24日(木)雨。午後7時より決算を行う。コンスタントに改正を断行し、大島副舎長、切味を見せる。宮部舎長、食堂化粧問題でお見えに出る。

7コマ目

5月25日(金)本日より文武会デー、公会堂に於て映画会、余興、お菓子などあり。大島君雨の中、空沼に出掛く。〔 札幌市公会堂 = 北1条西1丁目にあった、市民会館(昭和33年建築)の前身。昭和2年建築。豊平館に隣接。 〕

5月26日(土)文武会デー第2日目。停年教授送別会、学術映画、夜は音楽会、中央講堂に於て催さる。

5月27日(日)曇雨。夕方に至りて日の顔を見る。夜はよい星空。東郷元帥重態の由。

5月28日(月)曇、朝桜林君帰舎。舎の食堂は面目を一新する。1号室での食事、いと楽し。

5月29日(火)曇後雨。寒いよオ。朝はカッコオの声がよくひびく。

5月30日(水)晴。久し振りで晴れて気持ちが良い。秋葉君が大掃除をやっている。東郷元帥はなくなってしまった。庭のチューリップがきれいに咲いている。リンゴの花も。

5月31日(木)晴。5月も行く。唯一度と歌われた5月も行く。喜びと美しさを残して。

6月1日(金)晴。朝からカベのペンキ塗り。一日中追い出されたが、気持ちよく、きれいになった。永井君は学校をサボっている。

6月2日(土)晴。ハレ。天気は申し分無しだ。土曜の午後でも本科生の多い舎は閑散として居る。夜、誰も居ない。舎は死の沈黙につつまれている。

6月3日(日)曇り小雨。大掃除はロング。教会へは一君。桜林君、安息日なり。

8コマ目

6月4日(月)時々雨。舎の台所係が代った。平たく言えば、料理主任、マカナイ、いや此よりもっと大きくを であるよ。我寮のおばさんに流れ なのだ。新生活の門出に勇気と希望に満ちている様だ。

昼に講演があった。行く人あまりなかった。晩、5号室で皆でオソク迄駄べる。

評議員会は大島君一人でた。9時頃終わった。

6月5日(火)雨。東郷さんの国葬の日だ。桜林君が雨をオカして赤岩に行く。

6月6日(水)曇。晩、兵隊さんが出征した。停留場が舎の門の前に来たので少々ウルサイ。「牧笛」の原稿は藤田康君のと僕のとしか無い。廃すべきか？

6月7日(木)曇ったり一寸降ったり。夜、ロングと康君は松竹座へ行く。

6月8日(金)晴れ、曇り、夕方。午後スゴイタ立。胸がスーツとした。雷もなっている。「牧笛」を出した。2人きりだったけど。康君と僕とだ。

6月9日(土)永井さんは朝から学校へ行かず何処かへ行く。午後から康、桜の両君、三角方面へスケッチに行く。晩は札幌シムフォニーの発表会に4、5人押かける。

6月10日(日)晴、誰も石狩に行かない。舎もさびれた。エネルギーの薄らいだ証拠だ。日曜日の午後、植物園にはオシドリで一杯だ。人よ天の賜物をおろそかにする勿れ。

9コマ目

6月11日(月)晴後曇。風がふいてホコリがひどい。

6月12日(火)曇。風が依然やまない。デパートはお祭りも近いので夜業をやっている。ツイ出たくなるのが人情だ。

6月13日(水)曇、雨。恭本書記生は、夜のニュースによると南京郊外の洞窟で発見されたと、オオカミに追い出されたんだらうとの事、南京政府の夜の発表らしい。

夏らしい宵である。お祭りの電気が何だか心を乱さず。乙女達のホノ白い顔が時に浮んで来るのも悩ましい。所々にエン台等出して居る。

6月14日(木)晴たり夕立ったり。すごい雷になった。日が永くなった。今日から大

祭だ。燈が浮わついている。何とはなしに心が刺激される。悩ましい。パリー祭を想う。

6月15日(金)晴後曇。お祭りで学校も午後から休みになる。荘内湯はショウブ湯だ。舎に新しい女中が来た。毎夜フクロウがよく鳴く。悲痛な声をしぼって。

6月16日(土)晴時々雨後曇。、、、 <判読不可能> 舎生の某君は創成川畔を逍遙して得る所大だったとか。時ならぬ夕立 晴れ着を濡らす。

6月17日(日)雨。 お天気はね。お祭りも今日でお終い、人通りもへった。提灯も無くなった。

10コマ目

6月18日(月)曇時々雨。梅雨の様だ。夕方みんなで散歩に出掛ける。独りブー。今学期は月次会をやらない様だ。

6月19日(火)曇ったり晴れたり。

6月20日(水)クモリ小雨。風が吹いていた。昼、広瀬君が一寸よくなった。アカシアの花が香る。

6月21日(木)クモリ後雨。子 寝て居た。雨がハタノへとトタン屋根をたゞいていた。変人たちぞ!! 舎の変人か?

6月22日(金)晴。日があふるゝさまが変だ。晩は霧が下りた。

6月23日(土)曇り。大橋兄、万橋兄、永井君の孤立が目立って来た。夕方テニスコートを歩いた。ありし日の草の香りを想い浮かべながら。

6月24日(日)薄曇り。医学部2年は休みになった。

6月25日(月)晴れ。ホコリが立って風がふいた。夜は月が明い。アカシヤが白く浮き出た様だ。夜、決算、51銭。電灯料がとっても高く(といっても正当に取られたことだけ)なる。

6月26日(火)晴。夏の宵の人出。ほんとうにあったかくなりましたね。

6月27日(水)曇り。今日は友の会の映画会があった。「銀嶺制服」。若き日の感激を思え。〔 冬季オリンピック、スイス・サンモリッツ大会 1928 の記録映画〕

6月28日(木)曇り。医科と予科も試験。永井君の方は休み。他の連中も今日一杯で休みらしい。

11コマ目 2007.6.27

秋葉君は未だ就職にならず「だまされたんじゃないんだろうな？」てなことを言っている。

〔 昭和7, 8, 9年、大学生の就職難さげられる - 編者〕

アカシヤの花が散る。白い道、どこを歩いたら好いのだ。

6月29日(金)快晴。予科も今日かぎりて授業は終り。朝、風で夜は寒さを覚える程だった。

6月30日(土)晴。朝早く永井君が帰省する。みなに知らせずにコッソリかえるなんて友達甲斐のない奴だ。6月も今日でお終いだ。あなあわれ。大学の講義はみんな悪くなったらしい。〔? - 編〕

7月1日(日)ハレ夜になって雨。ひどい埃、人も知る競馬時の北5条通の埃を見よ。おまけに風があつてのだ。夜、慈雨が来た。トタン屋根をホトノと清めた。

7月2日(月)晴れたり曇ったり。永井君からハガキが来た。レーンコートを送ってくれと言ってきた。藤田一君が早速送ってやった。彼はなかノ親切なんだ。競馬と自動車

と埃。医学部の試験第1日無事終了。

7月3日(火)晴。内閣総辞職さるの号外が出た。北やドイツではナチスの内訌、前首相を銃殺するのだから凄い。

〔 齊藤内閣は帝人事件の責任を取って総辞職。帝人汚職 = 台湾銀行と帝人株にまつわる不透明な動き。4・18事件発覚、5・19大蔵次官召喚など展開 - 編集者〕

予科の試験は今日から始まった。夏らしくあつい日だった。東京の病院の一室で先日 君の妹君がなくなったとのこと。哀惜にたえない。昨日舎として電報をうった。

7月4日(水)曇り。大令降下は岡田啓介海軍大将に下った。

7月5日(木)一寸雨。晩、皆でコムパをやった。

7月6日(金)曇、晴。晩の汽車で藤田康君が厚岸に発った。2人減った。

12コマ目

7月7日(土)曇。医科2年の試験の日。大島君は朝早く皆がねてる間に帰省してしまう。静かなる晩だった。大鐘、秋葉両君は出て居ないが、若松、藤田一、大橋、桜林4君で駄べる。涼しい夏の晩だ。

7月8日(日)快晴。最近はアチコチで日照りで困ってるらしい。雨乞に大砲ばかり打てる様だ。札幌、その割に好い。

内閣もどうやら決まった様だ。〔 岡田啓介内閣成立〕

7月9日(月)晴後曇。2時にいたって雨が来た。小躍する程うれしく迎えた。僕は気分的、分散 たいのに。大砲も打ち甲斐があるというもの。だが此は待ちきれなくなった時に、駄目とわかって何かモガクのが人情だからして、其の方が為になるのだ。

予科は試験終わった。K馬も終わった。万ちゃんは気の毒だ。

7月10日(火)雨。涼しい。今年の夏は涼しい。蚊も居ない。便所へよく石油乳剤をまいてくれるので蠅も少ない。

7月11日(水)クモリ。午後2時の汽車で大鐘君帰省。

7月12日(木)晴。医科の試験も大部分すんだ。晩食にコロッケ4つも食った。

7月13日(金)晴。大塚君が遊びに来た。

7月14日(土)晴。ツマラナイ1日だった。ロングの猛勉、一君

7月15日(日)晴。少しあつくなった。

7月16日(月)曇り。ロング、チェリー両氏、最後の頑張り。

7月17日(火)晴。ロング、チェリー氏〔医学部の〕試験終る。暑い。久し振りで夕方皆で散歩する。「朝日グラフ」を買う。大島兄がいつか断ってしまったのだ。芥紙も買わねばならない。地代もはらわねばならない、70円。

13コマ目

7月18日(水)晴。朝、藤田康君、厚岸からかえる。晩8時42分で桜林君日高山脈へ向かう。10日間の予定。ひどい風と埃の日だ。晩、会の牛ナベ。

7月19日(木)曇り。終日埃ひどし。イチゴも下火になる。夜、藤田康君のところで11時 - 12時まで駄べる。

7月20日(金)曇り。康君、朝9時40分の汽車で帰省。悠々たる出発振りなり。之で現在舎生は4人になる。秋葉、大橋、若松、藤田なり。洗面所のタンク、トタン張り替えをやる。

夕7時10分着の列車で梨本宮、来札さる。若松、藤田、五番館前にて御出迎え申す。感心の至り。

7月21日(土)晴。かなり暑し。街へ出る者、多し。相変わらず埃の乱舞で、昼は窓も開けていらぬ。雨を望むや切。

夜、石平左衛門君来る。若松君の部屋で駄べる、11時まで。

7月22日(日)曇り。康君より、端書来る。秋葉君には未だ辞令下りず。官庁のルーズさが減ば、はたで見えても歯痒い。台湾高雄、大水のニュースあり。

全国山林大会、中央講堂にあり。新島名誉教授、梨本宮より有効章を親授さる。

午後、野球用ボールを買ってきて、若松、秋葉君キャッチボールをやる。夜に入り、待望の雨少し降るも、すぐ星が出て来る。

7月23日(月)朝からシトノ降る。お陰で埃おさまる。ありがたし。

14コマ目

夕食後、秋葉君は尺八の先生、大橋君は学校より帰宅せず。若松君は活動。藤田は散歩。

11時頃若松、藤田君はショボ雨に打たれながら散歩す。埃たぐぬに感激せしなり人。

南鮮洪水、被害甚大とのニュースあり。

7月24日火 晴。梨本宮、今朝退札さる。若松、秋葉君、球場に中等学校の野球を見に行く。

7月25日(水)晴。午後9時植物園の木の間から出た月がすばらしく円い。風はなく散歩によい。全部外出も宜しなり。

若松、秋葉君は朝から夕方まで北大球場に中等学校の野球試合を見に行く。昼飯も食わず、夕飯を景気よく食う。

大橋君は相変わらず学校に終日居る。夜8時頃腹を減して帰ってくる。藤田は製図とプランク埋め。まいど非能率的なり。一人で部屋に残って居るせいやも知れず。

南鮮の水害益々ひどい模様。次々に報道さる。

7月26日(木)晴。朝一番の列車で若松君帰省。3人共珍しく7時半に朝食を済ます。午後、秋葉、藤田君は電灯交渉に行く。かなりの差額を払わざる模様。明日本社へ行き確定的な答を聞く予定。広瀬君より琴似農事試験所就職の活版刷来る。

札幌の道は相変わらず埃っぽい。昼間はかなり暑い。

富山県下再度の洪水の報あり。奥国首相ドルフス、ナチス軍のため殺害さる報、夕刊。

15コマ目 2007.6.27

7月27日(金)晴。3人きりなので朝から静か。藤田、北水本社へ行く。8月中だけ休灯出来る様頼んで来る。米をとる。12円40銭。高くなった様だ。

〔 北水 - 当時北海道に4つあった電力会社の一つ「北海水力電気」のこと〕

〔 米は昭和7年以降不足気味、11年にかけて値上がり中。 - 编者〕

夕、秋葉君、就職決定。彼の喜びや大。場所は千歳孵化場。最初から助手として、の好条件。安心して徴兵検査に帰れるだろう。

奥国の内乱を機とし第二の欧州大戦が起こるやも知れずとタイムスの号外出る。

7月28日(土)雨。午前中よく降る。

7月29日(日)大橋君は終日、学校。今日は丑の日だが鰻は食わず。

7月30日(月)晴。早朝、桜林君、日高、10日間の旅行より帰る。山男然たり。元

気で帰ってきて何より。同じく日高に向った予科生4人遭難の事を聞く。今夕のタイムスにて報ぜらる。ラジオのニュースに依ると或いは絶望ならんとのこと。

夜久し振りに広瀬君を招き離別のコンパをやる。秋葉、桜林、大橋、藤田の5人たり。静かな夏の夜を馱べる。秋葉君、茶を飲むのも最後であろうと思うと淋しい気がする。だが結局2、3年たつと我々は散ってしまう。その間にどうか良き友の交わりを深めたいのだ。

7月31日(火)晴。朝の急行で秋葉君帰省。徴兵検査のためなり。桜林君、藤田君が見送る。彼の寄宿舍生活も終わる。前途に平和あれ。

16コマ目 2007.6.27

午に桜林君、新山靴を盗まる。これで2度目。同じ人のばかり。寄宿舍を無人とみて、ねらって居たに違いない。

夜、3人で馱べる。3人で3日に帰ることにする。

8月1日(水)晴、朝食8時半頃一緒に食う。大橋君学校。(藤田)一君は製図、昼から毎日医者にかよう様。桜林君はぼや／＼してる。夜、大橋、桜林両君、松竹〔座〕に「ある日曜日の午後」〔ゲーリー・クーパー主演1933年、米〕を見に行く。

夜、千秋庵のカレーを食べつゝ馱べる。3人とも寝台券を買った。上段1,2,3である。

8月2日(木)ハレ。一君ドロー〔製図-編〕完成。大橋君実験の片づけとか。桜林君のネボウ。札幌の街もしばしの別なり。物のアワレを覚える。桜林君、西瓜を買ってきて大いに皆で食う。赤くて甘くてスバラシイ。

8月3日(金)朝3人そろって帰省。朝の急行は賑やかになるだろう。舎は淋しいだろう。しばらくは我慢してマッテイロ!!コソドロなどヤツツケちまえ!!

8月29日、夜10時若松帰舎す。鼠と共に我一人。

9月3日(月)夜7時、大鐘君帰舎す。直ぐ友達の所に留りに行く。

9月4日(火)夜大橋君帰舎す。

9月6日(木)雨降る。大橋君旭川へ演習に行く。午前10時の汽車にて。

17コマ目

9月7日(金)大いに雨降る。

9月8日(土)晴る。夜、桜林君帰舎す。

9月9日(日)終日雨、夜に至りて烈し。夕方、大橋君帰舎す。夜中暫時停電、一寸先も判らぬ闇夜と化す。

9月10日(月)早朝からりと晴れる。午後に至りて時々曇り。一滴二滴雨の気色を見せる。早や天候に秋色を見るは嘆しい!

本日、北大対東京商大対抗陸上競技あり。北大惨敗の由。

「附」9月8日、9日両日にわたり日米対抗陸上競技、明治外苑で催る。結局日本75点、米国83点で米国の勝利に帰す。

メドレ〔?-編集者〕200米に於て20秒2の世界新記録を作る。

9月11日(火)学部授業開始。夜藤田一君帰舎す。

9月14日(金)寄宿舍に不祥事突発。休暇中に金庫中の金、食事部の金、副舎長監理の金、及び大橋、桜林両君のメタル紛失事件俄然曝る。犯人は内?外?当局の活躍!!目星付く。

9月15日(土)朝永井君帰舎す。足かけ四ヶ月ぶり！
夜、容疑者、Y(15男)の取調開始す。午後5時半拘引、午後10時に至る実に4時間半！！終に口を割る！！

陳述の一部『、、、〔ママ - 編集委。以下同〕親が苦しい中から私に洋服を買って呉れました。それが2円ばかり足りない様でした。それでお金があったらと思ったのです、、、秋葉さんのために藤田さんの部屋へフトンを取りに来た時金庫が目についたのです、、、誰も居なかったのでその気になったのです、、、秋葉さんが帰ってから次の日かその次の日です。鍵を盗み金庫を開いて金を取ったのですけれど残金を書いた紙片が入っていたのでそのまま入れて帰ってきました。その日は盗りませんでした。その次の日私のゴムケシとインクを持って行って9を2

18コマ目

と直して金を盗りました。食事部の方が1円とりました、、、メタルは大橋さんの所から一つ、桜林さんの所から二つとりました、、、金はそのまま親にやると分つて了うので、初め5円を財布に入れて玄関の所へ落とす様にしておいたのです。それが誰かに拾われたのです。親に拾わせ様と思ったのに。その次の日2円(?)を紙につんで勝手の裏口の所においたのも人に拾われ

てしまったのです、、、メタルは一つは縁の下に隠し、二つは植物園のほうになげました。その外のお金の事は絶対に知りません、、、』

当局某氏の話『犯人は一人だとは考えられない。この取り調べ殆ど大部分は大島君のお金のことに付いて口を開かせることだったが、終にそれは不成功に終わった。子供の頑強には驚いた。

だがこれは大島君が帰って来てからいづれは分ることだろう。子供が知らないとは前述の告白から、その矛盾を見ると言われぬが、その頑張の訓練の良さにはついに兜をぬがざるを得なかった。他犯人は大人だ。とにかく余り金に困る人を入れることはいかぬと思う。どうしても金に誘惑されるからね呵々。その犯人も大島が帰ってその裁きをつけることにより告白ホシに片づけられるだろう、云々』

9月16日(日)晴。大島君に早く帰る様に電報打つ。

予科対高商定期野球戦、小樽に於いて行ふ。9A対8で予科雪辱す。北大対仙鉄ラグビー戦、北大勝つ。円山公園はカメラデーで大賑い。

9月17日(月)夜、大島帰舎す。所で俄然副舎長監理の金、失われていないことを発見す。疑った者が悪い？疑われた者が悪い？

9月18日(火)本日午後3時半より中央講堂で東大名誉教授・瀧精一氏の日本画の概観と題する講演ありたり。秋期文武会デーの走り。

9月19日(水)よき天気続きなり。夜、舎生殆ど外出し静かなり。

9月20日(木)午後より雨。夜、藤田康君帰舎す。これで全舎生集まったわけだが、8名では！

19コマ目

9月21日(金)完全に丸一日雨降り。大阪、名古屋地方、颱風襲来、死傷甚だしい由。兎に角此の頃、日本国内非常時意識を烈猛にする為めか。不幸がよく続く。この暴風雨いよ／＼北上。

本日より文武会デーであるが、この雨降り、山へ行く予定の人、家に眠る予定の人、街を散歩の予定の人、完全にくさる。後3日間晴れて呉れるとよいが。

9月22日(土)雨降り。永井君が宮崎さん所からマージャンを借りて来る。夜はマージャンで更ける。

9月23日(日)曇り小雨。天気も駄目、あらゆる計画が駄目。方々でクサってることだろう。茨戸へ行くのも、アシベツへ行くのも、。

此の晩、上野の連中の演奏会があった。大島が行って感謝してかえって来た。

万ちゃん来る。久し振りで勇姿を見せた。悦サンを伴にする、月は雲に隠れる。此の日10時からマージャンをやる。

9月24日(火)晴。終に休みは今日一日となった。秋晴れの輝かしい日、清らかな雲、きらめく木の葉、うららかなる陽光にめぐまれた一日だった。

決算の結果従来通りの方法でやると一日70銭になり、日数の多い人に負担が大きくなり不公平になるので、人の意思のかゝらない支出をコンスタントに入れてやる。相当高くなった。面倒な決算だった。

素晴らしい月だ。決算なんかでなく、月見をやるべきだった。

万ちゃんもかえって行った又、千歳へ。

20コマ目

9月25日(火)晴。どの部屋も未だ大掃除をしない。ルーズなること夥しい。夜来れば10号室あたり、南京臭い妖雲がただよう。

9月26日(水)晴。快適な秋晴れの空。感激的な雲。秋に試験の無い連中はしきりに麻の雀にふける。賄方の努力で舎の周囲、空いた部屋のガラス、玄関前、スバラシクきれいになる。クルミも随分集めてある。

9月27日(木)晴。大鐘君は演習に出かけて来る。晩小樽より大塚君がやって来てくれる。

9月28日(金)晴。大鐘君午前中、軽川の演習とか。午後桜林君学校のプールで泳いだとエバって居る。

9月29日(土)大鐘、藤田康、永井、大橋4氏は学校のプールに泳ぐ。凄い意気也！！

9月30日(日)晴。日曜日だったか。

藤田一君が気分が悪くて教会の途中でかえって来て寝込んでしまった。大事に至らなければ好い。藤田康、永井、桜林の3名はハイキング、スカーリングに茨戸に行く。一度も水の中に落ちなかったよし。若松、大橋両君は藻岩山をテクる。

10月1日(月)雨、石炭10トン買込む。物干し竿も遂に1本残して居るのみになった。今夜の嵐で又倒壊を早める事だろう。

10月2日(火)曇ったり晴れたり。

21コマ目

西辺の山々が初雪で白い。とても寒い。夜の9時に3度なにがしだそうだ。

一君の風邪は快方に向いてるけど寒さに負けるな。

10月3日(水)晴。昨日よりやゝ暖い。朝はひどい霜だ。一君は床を上げた。

10月4日(木)晴、曇り。フレッシュマンの入舎。晩、木村一郎君が6号室に入舎する。札幌市会議員決定。

永井君は長い間共に食べ共に寝て暮らしてきたけれど、残念だけど一朝で彼の決心が出来たのではないだろう。仕方がないだろう。今週の土曜、退舎される由。淋しくなるけど、しかたがない。舎の現状に随分不安。

10月5日(金)晴れたり曇ったり。平和なる一日を 神に感謝せよ！！

10月6日(土)雨、晴。晩、特別室で全員 人、自己紹介やる。

10月7日(日)晴れた日。快い日曜日であった。林実1年、近藤直康君入舎さる。N君が長い間住みなれた舎を出て藻岩山麓に居を構えた。日曜のこととて人のない舎からトラックに乗って去っていった彼の心に去来したものは何であったろう。神経衰弱で落ち着かなかった彼。今一人の友、同じ札幌に住んで居るのだけど、やはり寂然たらざるを得ない。

木村君札幌岳へ。康君はトイシ山に。大橋、桜林両君は三角山方面に、其々、秋の日を、若き日を謳歌した。

22コマ目 2007.6.7

10月8日(月)晴。火鉢が恋しい秋である。

10月9日(火)晴。今週末の月次会委員発表さる。桜林、大橋、藤田康、大鐘の四君。

10月10日(水)晴後曇り。夕方奥田さんが見に来られた。時々来て下さって舎友会の事務をして下さる。若松君宛に増井君が神戸のセンベイを送ってくる。

10月11日(木)晴、曇り。

10月12日(金)晴。ユーゴスラヴィアの皇帝がフランスで何者かに射殺された。

のる？ユーゴ国民の大激昂。フランス外相も同時に死んだ。一昨日の新聞による。が此の事が我々と何の関係があるのか？札幌であり、青年寄宿舎であり、大事であり、此の事が我々の井々である。

10月13日(土)晴。藤田康君が歯茎の手術を 口を湿布してる。今月の月次会。晚餐は肉ナベ。会には先生、 、奥田、山口、時田の諸氏が見える。大鐘委員の開会の辞。大島副舎長の挨拶。新入生・近藤、木村君の挨拶。舎生諸兄の 話。皆舎の憂鬱な一面のみ語ったので、先輩にユウウツな感じを与えただろう。而するに古き友達はいい所になれて居て、いやな所しか見えないのだ。11時閉会。

果物が大いに余った。リンゴ、ブドウ、梨、各々1貫目づつだった。其の半分づつで足りたのだ。菓子は千秋庵ので美味かった。

10月14日(日)くもり、小雨。舎の連中は自由を尊重する、そして

23コマ目 2007.6.7

彼らは愛することを知らない。只し を持たない、そして皆旦那になりたがる。大鐘君は定山溪に行った。曇って埃がひどい嫌な日だった。自分が何もなしで我が儘だから言う、此が舎の伝統なのだ。

10月15日(月)雨。いつの間にか里にまで紅葉と冷たい雨の秋の日がやって来た。いつの間にか がすいて見える様になった。ちょうど、老いたる人が、「ああ俺も年をとっちゃった」と言う様に。雨にたたかれてる黄の木の葉を見ると思う。快い晴れた日のみ続いている間は浮きノ＼としてこんな事は考えなかった。皆に雨だ、冷たさだ、其が人の心に寂さと想いと追憶とをあたえるのだ。

10月16日(火)曇り。若松、桜林両君は小樽見学。

10月17日(水)神ナメ祭、曇り。桜林君小樽より帰る。街は兵隊さんで一杯。

10月18日木ハレ後雨。工科の試験、林実の試験。ガンバレ！今は無き永井君とこの家から松茸と覚しき物来る。

10月19日(金)晴れたり曇ったり。最近は誰もピンポンもテニスも、投てきにキャッチボールさえもやらない。淋しい話さ。

10月20日(土)晴。北大疑獄なるものが夕刊にのる。根本、渡部ら皆退屈である。夕方食堂にピンポンの音きこゆ。

10月21日(日)晴後曇。大橋君藻岩山へ。舎内ではピンポン又盛になる。街では森永が一昨日来、開店した。庭の落葉がたまった。紅葉をたいて暖める物は何か？酒か？否！イモか？否！之は人の心を暖めるのだ。〔森永＝森永製菓札幌支店内のパララーのことであろう。〕

10月22日(月)晴。暖かい好い日。

24コマ目 2007.5.11 筆記

10月23日(火)晴 食堂と勝手にストーヴ付く。決算の結果1日70数銭を出る。皆の60銭にする。かうして補助しても余で来てるのだ。何かで舎がとりすぎているのか？部費か？滞納せずはらうことをつとめねばいけない。皆の気持次第だ。

10月24日、曇後雨。スコット機英豪間3日間のレコード輝かし。我国の航空界は淋しい。

10月25日曇、雨。各室にストーヴをつける。去年迄の煙筒屋は一つ取りつけ料60銭だったけど今年のは30銭だ。

10月26日(金)曇、手稲は山雪かぶった。一寸寒い日だった。記念祭も近づいたけど、其に対する気持は何かしらあまり華やかではない。だがこうして何年かを此の舎の中で過して来られた事は感謝して好い筈だ。ストーヴ燃ゆる頃は楽しく暖かい。その音は懐かしき去りし日を思い出させてくれる。

10月27日(土)ハレ。暖かい小春日和の秋。晩に、新入舎生、谷口君入舎さる。東京の人、予工一年。前途を祝福する(今日より食)

10月28日(日)雨。一日中雨でツマラナイ。晩、谷口君の歓迎コンパやる。

10月29日(月)晴、昨日の雨で山は雪が来た。藻岩へも降ったそうだ。

10月30日(火)晴、記念祭近いけど何の反応もない。大島君、若松君、藤田君等シヨウギだけ為すなり。外には軍縮会議の風雲急なり。

10月31日(水)晴、最近はアタカイ好い日だ。大島君ヒマと見えて豊平峡へ行く。本科の3年は大いに時間があるらしい。晩9時から記念祭について皆で相談する。

25コマ目 2007.5.11 筆記

11月1日(木)曇り後雨。暖くてストーヴがジャマな位。春の雨のように降る。今年もあと二ヶ月で終わるのだ。

11月2日(金)雨。名古屋の鈴木先輩から例年の如く漬物を送ってくれる。食堂、玄関に、一寸明日の準備をする。晩2号で皆でおそくまで駄べる。

[付箋が邪魔] 君の記念祭歌を皆で歌う。昔の事等思い浮べながら。

小晴。明治節。舎の記念祭、朝から皆忙しい。2時記念式、5時晩サン。7時座談会。出席者は宮部先生、鈴木、北村、時田、多勢、今井、平戸、金森の諸

氏。舎生 10 名。

式の順序

1. 開会の辞 若松君
2. 記念祭歌合唱
3. 副舎長挨拶 大島君
4. 舎生祝辞 藤田一君
5. 先輩祝辞 北村氏
6. 宮部先生祝辞
7. 舎のバンザイ三唱
8. 宮部先生バンザイ三唱
9. 閉式の辞 若松君

会おえて写真の武林の奴が来てとる。先輩達は先生と植物園へ行く。

食事はお赤飯、サラダ、汁、付、デザート・リンゴ、ブドウ、西洋梨。

26 コマ目 20070512 筆記

食後先輩とピンポンやる。おさえられた、あっさり。

7時、座談会。舎長殆どシャベラナイ。余興をやると好いと思う。

総務、大島、庶務若松、大橋、接待、桜林、藤、装飾、大橋、桜林、近藤、食事、藤田一、藤田康、大鐘、木村、谷口、の顔ぶれ。

デコレーションケーキは西村、ちる。軽かな記念祭だった。費用は のし袋60数銭、接待12円61銭。庶務3円50数銭。食事部ワカラナイ。合計40円以内だろうと思う。先輩諸氏、当日の寄附は当日来られし人の合計36円50銭、在郷の方々のは未だわからない。

青木三成氏からお菓子、名古屋鈴木氏から漬物。

11月4日(日)晴。昨日の残りのご馳走にめぐまれる。藤田康君、谷口君等、ホ口見峠の方へ出かける。

11月5日(月)晴、記念祭の決算報告が副舎長より出る。寄附が47円幾十銭。

11月6日(火)曇、「楓林」が発行さる。

11月7日(水)雨、今日は軍教の査閲で予科生八豪雨の中で野外教練をやらされる。

11月8日(木)小雨。何の変わりもない平凡な一日。寒い、山は雪だ。

11月9日(金)曇。若い人が加わったので舎は確かに活気づいた。「楓林」の原稿でもわかる。夜食堂でピンポンをやってる。近来にない事なり。大いにやるべし。

11月10日(土)曇。少しアラレ降る。阿部山の附近まで雪が来てる。

11月11日(日)曇後ミゾレ。庁立高女の音楽会に、大島、若松、

27 コマ目 2007.5.13 筆記

両藤田、木村諸君ら大挙して行く。夜第二日目より雪が来る。

11月12日(月)昨夜来の雪が一、二寸積った。ひどい道だった。デンプン大活躍。今朝は平和 記念日の世界各国からの放送があった。

11月13日(火)曇り。今日は珍しい先輩、小野さんが舎に来た。夕食を共にしかつ食後食堂で [婚?]の経験談を一時間ばかり費やして聞く。中々面白いことであった。小野さんは15年ばかり前に卒業された人で大日本肥料に居る。今度函館に転任になられ

る由。皆に挨拶に来られたとのこと。有難い先輩である。松島屋のお菓子を大量に下さった。

11月14日(水)大分寒くなって来た。大根の漬物は実にうまい。今月の決算が何と出るか皆注目している。150銭以上では人道問題だ。道産米はまずい、古いためか?

11月15日(木)晴。昨夜小雪ふる。今年は雪が少ない。大島君は川崎造船にきまったそうだ。

11月16日(金)雨。雨で北5条はすこぶる道が悪い。

11月17日(土)晴。文武会音楽部の演奏会の日。舎から大島、木村、桜林の3君が出演する。花形ぞろいだ。なかなか盛会だった。

11月18日(日)晴後小雨。一寸生暖かい日だ。康君は豊平川の土手を物思わくげに散歩したそう。又寒くなるだろう。今年は暖かい様だ。早くスキーがはきたいものだ。

11月19日(月)クモリ、寒い。夜雪が積もった。大分好い雪だ。

28コマ目

11月20日(火)寒い日だ。雪が朝からふる。夜に到って遂に道が凍った。真白にそめられて美しい。「ムイネへ行こうか」なんて考え出すのだ。廊下のスキーが夜鳴きをすることだろう。

11月21日(水)晴。松竹座で「ニンジン」上演中。〔1932年作、フランス映画〕

11月22日(木)晴。日召等の判決きまる。彼は無期だった。〔日召=昭和7年に血盟団事件を起こした右翼テロリストの井上日召〕

11月23日(金)晴。市立高女の音楽会に大挙して行く。夜は決算があった。一日48銭。食事部の努力の証し。

11月24日(土)晴。道路の昼間の泥濘は「シベリヤの旅」を思い出させる、チェホフを選んだ人には、

11月25日(日)晴れ、暖かい。小春日和と言える日だった。路もよくなった。白くなった山々が煤煙で霞んで見えた。春は霧、冬は雪。康君、谷口、近藤の諸兄は三角山に行く。秋の名残を?いや汽車を見に行く。早朝大橋君が郷里へ発たれた。卒業って日も近いのだ。夜、月がさえわたる。

11月26日(月)晴。5度。大分暖かい。康君は28日試験、予科の試験も近い。一君は「ドロ」を書いてしまってノンビリしてる。大島君は東京に就職出来なかったことを嘆いてる。

11月27日(火)雨後雪になる。康君は明日試験でがんばってる。

11月28日(水)極寒。吹雪。突如として来た寒さ。谷口君が驚いてる。

11月29日(木)小雪。昨日の雪で寒い。決定的な根雪には...が、又暖かい日が来るかも知れない。改正列車時間割出る。上野迄24時間で行ける事の素晴らしさ。

〔上野・札幌間の所要時間はこの12月1日からの改正で24時間40分になった。〕

29コマ目

11月30日(金)雪。1日中パラノ、或いはじゃんノ、雪が降る。夜になると舎のスロープにフレッシュマンやロング、康君らが夜間照明中を快的に滑ってる。大島君はコーラス部の主催のレコードコンサートに行く。

夕方広瀬君がお菓子を持って来てくれた。誰も居なかったとかで済まなかった。記念祭の

寄附を事務に置いていってくれたとか。好い先輩である。

12月1日(土)小雪。康君は双子山に出掛ける。冬たけなわの様な感じだ。賄のオバさんが胃病(?)で だ。誰か頼んで来てやらせてる。僕らの全然知らぬ人で大丈夫かな?

12月2日(日)小雪。大島君はムイネへ、康君円山へ。定山溪方面は実に大雪だそう。夜、大塚君が来て10時半までダベって行く。小母さんの病、困る病気じゃなけいゝが?! 医者に見せる必要あり。

月次会は今週木曜と決定、委員は近藤君、藤田一君。

12月3日(日)小雪。愈々 オン。

12月4日(火)小雪。特になし

12月5日(水)雪。昨夜来で5寸程つもる。ロング氏昼から しに行く。

12月6日(木)月次会。予科試験激励、宮部先生送別。先輩は亀井、奥田、時田。藤田一、木村、桜林の3君があつく話す。終えて委員改選。

食事 藤田康、谷口君

会計 藤田一君

文芸 近藤君

運動・衛生 木村君

星座は傾き夜は更ける。ストーヴの燃える音のみ高い。

30コマ目 2007.5.13 & 7.8 筆記

12月7日(金)晴。今日は暖かい。雪がとけて来て日曜に山の雪が減らないかと心配にさせる。月次会にアマツタ菓子が2人に1個ずつ分配される。

12月8日(土)晴。予科の試験が近づいたので予科生は猛勉。夕方広瀬君が来る。月次会を今日と間違えたって、9時半頃まで1号室でダベる。明日は舎生諸君は山行を想ってることだろう。青空を想う、陽差しに輝く雪面を想う。静かなる情熱、その別名を幸福という。

議会は解散を決めたって? 議会、文武会、同じものさ。インチキの程度か。文武会の方がケンカ(暴力的)をしないだけ好い。会社へ行っても何をしても、現存する組織の中へ入って行ったら、 会、 XX〔一字読めず〕、サク取八まぬがれない。文武会、桜星会 etc. 同じことさ。

12月9日(日)晴。朝は相当にシバレタけど日が上るにしたがって暖かくなった。早春の様子、氷狂いとけて滴を落としていた。若松君、藤田康君、大島君3人で遥山に出掛ける。大島君は頂上付近で膝の関節に「ネンザ」をやったとか、びっこを引いて帰ってくる。今年の冬は早い。昼、大橋君がかえって来る。十分なる好き結果を祈る。

東京間24時間の先鞭はつけられたり。

12月10日(月)晴、雪がとけて路が悪かった。晩、永井君がきて遊んでいった。[付箋のため読めない]人通りもなかった。

[付箋]11日、 時々小雪。宮部舎長が朝の汽車で台湾に向ふ。 出かける。[札幌]グランドホテル開業。

12月12日(水)曇。

12月13日(木)晴、暖かく、雪がとけた。予科生猛勉!!

1 2月14日(金) 予科のシケン終コル。 ない。小雪。

1 2月15日(土) 曇。

1 2月16日(日) 晴。若松、大橋、藤田康の3君は手稲へ行く、雪が少なくて

3 1コマ目 - 2007.5.16 筆記

あまり好くなかったとか。でも天気が好くて好かったことだろう。

1 2月18日(火) 曇り、雨後小雪。モロに暖い。雪がとけてた。近藤君、晩の汽車で帰省する。

1 2月17日(月) 朝は零下11度を示す。

1 2月19日(水) 曇り。学校終へし人多し。大島君夕方の汽車で帰郷した。近藤君本日より欠食。

1 2月20日(木) 早朝、桜林君、十勝へ。午前9時50分で康君ニセコによして一路帰京。一君も家よりの電話で急に帰宅(午後九時の汽車)。

予科試験終了。レコードを買って来て12時過ぎまで聴舌す。

1 2月21日(金) 朝の汽車で谷口君帰省す。夜の汽車で木村君も十勝へいよ／＼。舎も3名になる。谷口、木村君欠食。

1 2月22日(土) 朝、大鐘君、青山温泉へ合宿へ。舎に2名残る。

1 2月23日(日) 皇太子殿下御降誕亦1回目御誕生日。雨降り雪なくなる。

1 2月26日(水) 夜、大鐘君突然帰舎す。家よりの手紙で急ぎ帰省とのこと。札幌は寒し。予科主事、三田村孝吉氏辞職す。

1 2月27日(木) 朝、大鐘君帰省す。雪少し降る。予科主事、藤原正氏決定の由。〔哲学担当の教授〕

1 2月28日(金) 寒さ激し。夜、道農会の建物火事。恐し、恐し。帝人汚職問題記事解禁。太々しい面魂を勇ましくも紙上に表すは三上鉄相、中島前商相、黒田前大蔵次官以下数名。

3 2コマ目 - 2007.5.16 筆記

1 2月29日(土) 夜大島君突然帰舎す。十勝からも桜林、木村両君男々しき面構えで元気よく帰舎。

1 2月30日(日) 慌ただしい師走の風がふいている。街、人、…。[ママ]舎生も商人がゲルトを取りに来るので忙しい気に一寸なってくる。夜は煤煙がモロにひどい。昨日桜林君又靴又スマル。〔ゲルト=お金〕

1 2月31日(月) 雪。各商店からお歳暮のミカンが来る。

[付箋]ロング、チェリー、木村の三君はムービーを見に行く。